調査書（様式３号）作成上の注意

１　高等支援学校等に提出する調査書は、特別支援教育課ホームページからダウンロードしたものを基に作成し、プリンタから出力したもののほか複写したものでもよい。

２　※欄は、記入しないこと。

３　各欄の記入は、次のとおりとする。

　(1)　「出欠の記録」

　　ア　第１学年、第２学年については、指導要録に記入してある出席日数、欠席日数を転記し、第３学年については、令和７年10月末現在で記入する。（令和７年３月以前の卒業者は、第３学年についても、指導要録に記入してある「欠席日数」を転記する。）ただし、出席停止、忌引き等の日数は、欠席日数に含めない。

　　イ　「欠席の主な理由」欄には、必ずその主な理由を記入する。

　(2)　「教育措置の状況」

通常、知的、情緒、その他のいずれかを記入する。

　(3)　「学習の記録」

　　ア　現在の各教科等の学習の状況を記入する。記入に当たっては、特別支援学校学習指導要領に示す知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科等の内容を踏まえて具体的に記入する。教育課程上実施していない教科がある場合は、「記載事項なし」と記入する。

　　イ　「特記事項」欄については、各教科、総合的な学習の時間の学習について総合的にみた長所を具体的に記入する。なお、特別に記入を要する事項（例えば、病気、けが等により評価に著しく変動のあった場合）があれば、その状況についても記入する。

　　ウ　「総合的な学習の時間」欄については、この時間に行った学習活動を記入し、生徒の学習状況における顕著な事項や生徒にどのような力が身に付いたかなどを記入する。

　(4)　「特別活動の記録」

　　　指導要録に記入してある「特別活動の記録」を参考に記入する。

　(5)　「学校生活の状況等」

　　ア　「基本的生活習慣」欄については、生活リズムや身辺処理等、基本的生活習慣の状況について記入する。

　　イ　「社会性」欄については、集団への参加状況や人との関わり方等の状況について記入する。

　　ウ　｢コミュニケーション｣欄については、言語の理解と表出についての状況を記入する。

　　エ　｢行動の特徴｣欄については、指導要録「行動の記録」の項目を参考にして記入する。

　(6)　「総合所見及び参考となる事項」

　　　部活動の所属部名及び主な活動状況、校外における活動状況（ボランティア活動、文化・スポーツ活動等）など生徒の成長の状況を記入する。また、現在学校で行っている合理的配慮があれば記入する。